

## 令和2年度福岡県立高等学校入学者選抜学力検査結果の概要について

### 国 語

言葉に関心を持ち、様々な情報から内容を正確に理解するとともに、言語活動を通して、根拠を明確にして自分の考えを適切に表現する学習をしましょう。

#### 問題内容・得点状況等

##### 一 語句・語彙、書写についての問題

エスカレーターの利用に関する新聞記事を見ながら、互いの存在を尊重することの大切さについて、祖父と中学生の孫が話をしている場面からの出題です。得点率は68.3%でした。

問一は、漢字を楷書で書く問題です。

問二は、漢字の読みを答える問題です。

問三は、会話文で使われている語の類義語を、新聞記事から抜き出して答える問題です。

問四は、文脈を手がかりに、適切な語句を導き出す問題です。

問五は、行書の特徴についての問題です。

語句・語彙については、日頃から読書に親しむとともに、国語辞典や漢和辞典などをひもといて、多様な語句の意味や用い方等を理解する学習が大切です。

また、書写については、楷書とともに行書の基礎的な書き方について正確に理解する学習が大切です。

##### 二 説明的な文章の問題

本文は、チンパンジーとの比較から、他人を信頼し助け合うというヒトの稀有な性質を明らかにした上で、巨大で発展した社会をヒトが作り上げたことを説明した文章です。説明的な文章の内容や要旨を的確に理解しているかを問うています。得点率は59.1%でした。

問一は、傍線部が指し示す具体的な内容を、本文からの的確に抜き出す問題です。文章の中心的な部分と付加的な部分などを読み分けて、キーワードを探し出す必要があります。

問二は、本文の内容から具体例の説明として、最も適当なものを選ぶ問題です。段落ごとに内容をとらえながら、根拠となる部分を正確に理解することが大切です。

問三は、比較の効果を問う問題です。論の展開の中で具体例が果たしている役割をとらえることが大切です。

問四は、問題提起に対する書き手の考えを正確に読み取る問題です。各段落が文章全体の中で果たす役割をとらえることが大切です。

問五は、要旨を分かりやすく表現する問題です。論理の展開の仕方を思考し、判断した上で、読みやすく分かりやすい文章として表現することが大切です。

説明的な文章を読む際には、文章に表れている書き手のものの見方や考え方と、その根拠となる部分について、文章の中心的な部分と付加的な部分、例示の効果や論理の展開などを考えながら読む学習が大切です。

### 三 文学的な文章の問題

本文は、江戸時代を舞台に、小料理屋を営む主人公やその妻などの姿を通して、それぞれの人間関係において互いを認め合い、支え合う様子が描かれている文章です。文学的な文章における場面の展開、情景や人物の描写から、思考力、想像力、表現力をみる問題となっています。得点率は46.8%でした。

問一は、登場人物の言動の意味から、人物像を考える問題です。

問二は、主人公の心情の説明として、最も適当なものを選ぶ問題です。語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して読み、内容を理解することが大切です。

問三は、本文の内容から、登場人物の設定についてとらえ、空欄に当てはまるように書く問題です。

問四は、主人公の心情を読み取り、指定された字数でまとめる問題です。登場人物の言動の意味を考え、内容を理解し、自分の考えをまとめることが大切です。

問五は、文章に用いられている表現の効果について、最も適当なものを選ぶ問題です。

文学的な文章を読む際には、場面の展開、登場人物の心情や行動、情景描写、場面や登場人物の設定の仕方などに注意して読むとともに、表現の仕方や文章に表れているものの見方や考え方について、自分の考えをもち、表現する学習が大切です。

### 四 古典の問題

本文は、『新釈漢文大系第47巻 戦国策（上）』からの出題です。現代語訳を手がかりとして古文に親しみ、内容を理解する問題です。得点率は46.7%でした。

問一は、歴史的仮名遣いの読みを答える問題です。文語のきまりを知り、古典特有のリズムを味わいながら、実際に声に出して音読することが大切です。

問二は、文脈における語句の意味を的確にとらえる問題です。

問三は、比喩の意味について読み取る問題です。文章全体と部分の関係、例示や登場人物の言動の意味などを考え、正確に内容を理解することが大切です。

問四は、主語を答えることで、話の展開を理解しているかを確認する問題です。

問五は、文章全体と部分の関係から、登場人物の言動の意味を思考し、分かりやすく表現する問題です。

古典を読む際にも表現の工夫や効果などに注意し、登場人物や書き手の思いなどを想像しながら、文章に表れているものの見方や考え方を読み取る学習が大切です。

### 五 作文の問題

学習指導ボランティアの方を体育大会に案内するという具体的な場面を想定し、相手に伝えるときに大切にしたいことや伝える手段を、根拠を明確にして述べる問題です。複数の資料から必要な情報を取り出し、自分の考えと関連付けて、文章にまとめる力を総合的に問うています。得点率は77.0%でした。

日頃から、事実や事柄についての自分の考えを、根拠を明確にして伝えることが大切で

す。また、伝える相手を意識して、自分の考えが効果的に伝わるように表現を工夫して書く学習が大切です。

〈まとめ〉

「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」及び〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕の3領域1事項について、バランス良く出題しました。

また、言語活動を通して思考し、判断したり、複数の資料から情報を関連付けて自分の考えを形成し、表現したりすることで、実社会に必要とされる思考力・判断力・表現力をみることができるようにしました。

全体の得点率は前年度より5.7ポイント下がり、60.0%でした。

文章を読む際には、構成や展開、登場人物などの描写に注意して読むことが大切です。文章の中心的な部分と付加的な部分、事実や意見などを読み分けて、内容を正確に理解する必要があります。また、自分の考えを効果的に伝えるためには、日々の言語活動の中で、適切な語句を用いたり、構成を工夫したりすることを意識することが必要です。

日頃から、言葉に関心を持ち、様々な情報から内容を正確に理解するとともに、言語活動を通して、根拠を明確にした上で自分の考えを適切に表現する学習に取り組むことが大切です。

## 令和2年度福岡県立高等学校入学者選抜学力検査結果の概要について

### 数 学

基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得し、それらを活用して問題を解決する力を身に付けましょう。

#### 問題内容・得点状況等

##### 1 「数と式」「関数」「資料の活用」領域の基礎的・基本的な知識及び技能に関する問題

大問2から6の出題内容を踏まえて広い範囲から出題した、基礎的・基本的な知識及び技能を問う問題です。得点率は83.6%でした。

(1)は、正の数と負の数の四則計算、(2)は、一次式の計算、(3)は、平方根を含む式を計算する問題です。式の計算の順序や符号に注意しながら確実に計算できることが大切です。

(4)は、1次方程式を解く問題です。分配法則や移項を使って、正確に式を変形できることが大切です。

(5)は、目的に応じて式を変形させる問題です。等式の性質を用いて、目的に合うように式を変形できるようになることが大切です。

(6)は、 $y$ が $x$ に反比例する関係を表した表から、 $x$ の値に対応する $y$ の値を求める問題です。反比例の関係を表す表や式を理解することが大切です。

(7)は、 $x$ の2乗に比例する関数のグラフをかく問題です。 $x$ の2乗に比例する関数のグラフの特徴を理解することが大切です。

(8)は、ある階級の相対度数を求め、比較する問題です。相対度数の意味を理解することが大切です。

(9)は、標本調査に関する問題です。比率をもとに母集団の傾向を推定できることが大切です。

##### 2 「数と式」領域の2次方程式に関する問題

具体的な場面で方程式を活用して解決する問題です。得点率は52.8%でした。

(1)は、文字式の表している意味を正しく述べているものを選ぶ問題です。

(2)は、等しい関係にある数量を選択し、それをもとに方程式をつくったり、つくった方程式を解いて答えを求める問題です。

数量及び数量の関係を文字式を用いて説明する学習が大切です。

##### 3 「資料の活用」領域の確率に関する問題

不確定な事象について、確率を根拠として判断し説明する問題です。得点率は63.1%でした。

(1)は、示された条件について、起こり得る場合の組を求める問題です。

(2) は、カードの変更により起こりやすさが変わることを、確率を根拠として判断し説明する問題です。

樹形図などを使って、起こり得る場合を順序よく整理して確率を求め、確率を根拠として判断したり、説明したりする学習が大切です。

#### 4 「関数」領域の一次関数に関する問題

日常の場面について、一次関数を用いて考察し表現する問題です。得点率は55.9%でした。

(1) は、表やグラフをもとに、与えられた $y$ の値に対応する $x$ の値を、日常の場面と結びつけて求める問題です。

(2) は、グラフが通る点の座標や傾きの意味を、日常の場面と結びつけて読み取る問題です。

(3) は、1次関数の式を用いて、2直線の関係を、日常の場面と結びつけて説明する問題です。

表、式、グラフを適切に用いて、事象を考察し説明する学習が大切です。特に、2直線の交点の座標は、2直線の式を連立方程式として解くことで求められることを理解し、問題解決の過程を筋道立てて表現する学習が大切です。

#### 5 「図形」領域の平面図形に関する問題

角の二等分線の作図の方法について論理的に考察し表現したり、平面図形の基本的な性質をもとに図形を計量したりする問題です。得点率は35.2%でした。

(1) は、ある図形がもつ性質を正しく述べているものを選ぶ問題です。

(2) は、示された作図の方法が正しい理由を考察する問題です。

(3) は、平行線の性質や円の性質を活用し、2つの三角形が相似になることを証明する問題です。

(4) は、円の性質、特別な直角三角形の辺の比、相似比を活用し、四角形の面積を求める問題です。

証明の構想や見通しを立てた上で、図形の性質を三角形の合同条件や相似条件などをもとに確かめ、論理的に考察する学習が大切です。また、与えられた図形の中に既習の図形を見だし、基本的な図形の性質を用いて、図形の線分の長さの比や面積などを求める学習が大切です。

#### 6 「図形」領域の空間図形に関する問題

図形についての直観的な見方や考え方とともに、図形の計量についての基本的な技能を活用し、空間図形を論理的に考察する問題です。得点率は24.3%でした。

(1) は、辺と面の位置関係を正しく述べているものを選ぶ問題です。

(2) は、体積比などを活用し、ある立体の体積を求める問題です。

(3) は、空間図形の一部を平面図形としてとらえ、三平方の定理などを活用し、線分の長さを求める問題です。

空間図形では、まず、図形についての基礎的な概念や基本的な性質を理解することが大切です。さらに、目的に応じて空間図形の一部を平面図形としてとらえ、図形の性質や三平方の定理などを活用する学習が大切です。また、空間図形の見取図をかいたり、見取図から図形の性質を読み取ったりすることで、その空間図形のもつ性質を考察し、表現する学習が大切です。

#### 〈まとめ〉

全領域において、数量や図形などに関する基礎的・基本的な知識及び技能や、思考力、判断力、表現力等を問う問題を出題しました。

全体の得点率は前年度より2.6ポイント上がり、55.7%でした。

数量や図形などに関する基礎的・基本的な知識及び技能を確実に身に付け、それらを活用して数学的に考察したり、表現したりして、問題を解決する学習に取り組むことが大切です。特に、言葉や数、式、図、表、グラフなどの数学的な表現を用いて、問題解決の過程を説明する学習に取り組むことが大切です。

## 令和2年度福岡県立高等学校入学者選抜学力検査結果の概要について

### 社 会

基礎的・基本的な知識や概念等の確実な定着と思考力・判断力・表現力を身に付ける学習を心掛けましょう。

#### 問題内容・得点状況等

##### 1 古代から現代までの日本の歴史に関する問題

わが国の古代から現代までの各時代について、貨幣を中心にまとめたカードをもとに、歴史の大きな流れや各時代の特色を問う問題です。得点率は61.9%でした。

問1は、古代の律令政治についての知識を問う問題です。

問2は、中世から近代までの各時代における文化の特色についての理解を問う問題です。

問3は、中世の特色ある貿易についての知識と、資料が示す歴史的事象について、指定語句を使って、説明する問題です。

問4は、現代におけるわが国の経済に影響を及ぼした歴史的事象について説明する問題です。

問5は、図から読み取れることをもとに、近世における貨幣経済の農村への広がりについて、指定語句を使って、説明する問題です。

歴史上の人物や出来事などについて調べたり考えたりする際に、年表や資料等を活用しながら、わが国の各時代の政治、経済、社会の様子、文化等の大きな流れを理解する学習が大切です。

##### 2 近代以降の日本や世界の歴史に関する問題

20世紀前半の軍事費の割合の推移をもとに、日本の政治や外交について問う問題です。得点率は27.7%でした。

問1は、複数の資料から読み取れることをもとに、20世紀前半の国際関係とわが国の貿易収支を関連付けて、指定語句を使って、説明する問題です。

問2は、複数の資料から読み取れることをもとに、軍部の台頭から戦争までの経過について、指定語句を使って、説明する問題です。

特に近現代の歴史については、世界の動きと関連付けて理解し、各時代の特色を政治や経済等の面から考察する学習が大切です。

##### 3 世界の地理に関する問題

地図や資料から、各州の地域的特色について問う問題です。得点率は46.2%でした。

問1は、地球儀や地図を活用し、地球規模の位置関係をとらえる問題です。

問2は、気候の分布から地球上の位置をとらえる問題です。

問3は、複数の資料から読み取れることを比較したり、関連付けたりして考察し、エネルギー問題や環境問題から各州の地域的特色について、指定語句を使って、説明する問題です。

日頃から国の位置や特色及び様々な州や国の地理的事象に関心を持ち、世界地図や各種の統計資料を比較したり、関係付けたりして、そこから分かることを見つけ出し、地域的特色を理解する学習が大切です。

#### 4 日本の地理に関する問題

地図や資料から、日本の大まかな地域構成、わが国や各地方の地域的特色について問う問題です。得点率は46.5%でした。

問1は、わが国の気候の特色を雨温図から読み取る問題です。

問2は、主題図と資料をもとに立てた予想を、確かめるための適切な資料を選ぶ問題です。

問3は、主題図と資料から九州地方の農業の特色を読み取り、読み取れたことを関連付けて、九州地方の地域的特色を説明する問題です。

問4は、2つの資料から読み取れることを関連付けて、わが国の工業生産の変化について考察し、指定語句を使って、説明する問題です。

問5は、地形図をもとに避難方向を判断し、その理由を説明する問題です。

日頃から地図や各種の統計資料に親しみ、それらに示された情報と既得の知識を関係付けて、地域的特色をとらえるとともに、防災等の事例を取り上げて地域の課題解決のための取組を理解する学習が大切です。

#### 5 現代の政治、経済、社会に関する問題

テーマ別に政党の公約をまとめた表をもとに、政治、経済の仕組み、現代社会の諸課題等の基礎的・基本的な知識や概念について問う問題です。得点率は46.5%でした。

問1は、国会・内閣・裁判所の三権相互の関連を問う問題です。

問2は、資料から読み取れることをもとに、選挙制度の課題について考察し、指定語句を使って、説明する問題です。

問3は、国際連合のPKO活動と国際連合のはたらきについての知識を問う問題です。

問4は、資料から読み取れることをもとに、租税の意義と役割について考察し、公平（公正）の視点から説明する問題です。

問5は、わが国の社会保障制度のしくみについての知識を問う問題です。

問6は、複数の資料からわが国の働き方に関する課題を読み取り、読み取ったことを関連付けて、指定語句を使って説明する問題です。

日頃から教科書にある基礎的・基本的な知識や概念を理解することが大切です。また、新聞やテレビ、インターネット等の情報を適切に活用して現代社会の変化を読み取り、関心をもって諸課題が起こっている原因や影響をとらえ理解する学習が大切です。

#### 6 現代社会の課題に関する問題

プラスチックの事例をもとに、循環型社会の実現に向けた取組の現状と課題について問う問題です。得点率は48.0%でした。

Aは、2つの資料をもとに、プラスチックを取り巻く現状について、読み取れることを



関連付けて、説明する問題です。

Bは、複数の資料から読み取れることを関連付けて、廃プラスチック処理をめぐる課題について考察し、説明する問題です。

Cは、複数の資料から読み取ったことをもとに、循環型社会について説明する問題です。

日頃から広い視野で社会に関心を持ち、社会科の学習で学んだことを活用して、現代社会が抱える社会的事象について、資料を多面的・多角的に考察し、表現する学習が大切です。

#### 〈まとめ〉

各分野にわたり、地図・統計・図表等様々な資料を提示することにより、基礎的・基本的な知識、概念、資料を活用する技能、思考力・判断力・表現力を問う問題を出題しました。

全体の得点率は前年度より14.5ポイント下がり、48.3%でした。

基礎的・基本的な知識・技能を確実に定着させるとともに、日頃から様々な資料が示す意味（分布、推移、割合など）を読み取ること。また、複数の資料から読み取れることを関連付けて考察すること。考察したことを相手に分かりやすく適切に表現することを意識して、日々の学習に取り組むことが大切です。

## 令和2年度福岡県立高等学校入学者選抜学力検査結果の概要について

### 理 科

見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を整理し、分析して解釈するなど、科学的に探究する過程を通して、基礎的・基本的な知識・技能と科学的な思考力や表現力を身に付けましょう。

#### 問題内容・得点状況等

##### 1 生物領域に関する問題

光合成と葉のつくりやはたらきに関する問題です。得点率は70.6%でした。

問1は、光合成について調べる実験で使用したエタノールのはたらきを問う問題です。

問2は、光合成について調べる実験の結果からわかることを問う問題です。

問3は、光合成によって葉でつくられた養分のゆくえについて問う問題です。

いろいろな植物の葉のつくりの観察を行い、その観察記録に基づいて、葉のつくりの基本的な特徴を見いだすとともに、それらを光合成に関する実験の結果と関係付けて考察する学習が大切です。

##### 2 生物領域に関する問題

刺激に対するヒトの反応に関する問題です。得点率は63.0%でした。

問1は、皮ふ、目、耳のように、刺激を受けとることができる部分の名称を問う問題です。

問2は、筋肉、骨、けんの部分のつき方を問う問題です。

問3は、刺激に対して意識と関係なく起こる反応を問う問題です。

問4は、刺激に対して意識して行われる反応と、意識と関係なく起こる反応では、反応時間が違う理由を説明する問題です。

動物が外界の刺激に反応している様子の観察を行い、その仕組みを感覚器官、神経系や運動器官のつくりと関係付けて考察する学習が大切です。

##### 3 化学領域に関する問題

化合する物質の質量の割合に関する問題です。得点率は52.3%でした。

問1は、ガスバーナーの正しい操作方法を問う問題です。

問2(1)は、加熱の回数と加熱後の物質の質量の関係をグラフから読みとる問題です。

(2)は、銅と酸素が完全に反応したときの酸化銅の質量をもとに、酸素と化合していない銅の質量を求める問題です。

問3は、銅と酸素が化合する化学変化を、化学反応式で表す問題です。

化学変化に関する物質の質量を測定する実験の結果から、反応する物質の質量の関係を導き出す学習が大切です。また、化学変化を原子や分子のモデルと関係付けて化学反応式で表すことができるように学習することが大切です。

#### 4 化学領域に関する問題

中和とイオンに関する問題です。得点率は55.1%でした。

問1は、BTB溶液の色の変化を問う問題です。

問2は、中和によって生じた塩を化学式で表す問題です。

問3は、中和によって水ができる際に結びつくイオンを問う問題です。

問4は、酸性の水溶液にアルカリ性の水溶液を加え、液を中性にするまでの、液中のイオンの種類と数をモデルで表す問題です。

酸とアルカリの性質を調べる実験や中和反応の実験を行い、実験の結果を、酸とアルカリの特性やイオンのモデルと関係付けて考察する学習が大切です。

#### 5 地学領域に関する問題

雲のでき方に関する問題です。得点率は、55.4%でした。

問1は、雲のでき方を調べる実験で、雲ができやすくする方法を問う問題です。

問2は、フラスコ内が白くくもる理由と、この実験と同じ仕組みで起きる現象を問う問題です。

問3は、フラスコ内の湿度の変化を、フラスコ内の温度が露点に達するまでの飽和水蒸気量の変化に関連付けて説明する問題です。

霧や雲の発生についての観察、実験を行い、そのでき方を気圧、気温及び湿度の変化と関係付けて考察する学習が大切です。

#### 6 地学領域に関する問題

天体の日周運動と年周運動に関する問題です。得点率は、56.8%でした。

問1は、北の空に見える星の見かけ上の運動を問う問題です。

問2は、北極星の位置がほぼ変わらないように見える理由を問う問題です。

問3は、北の空に見える星座の日周運動と年周運動の観察記録から、その星座が観測された時刻を求める問題です。

身近な天体の日周運動や年周運動の観察を行い、その観察記録を、地球の自転や公転と関係付けて考察する学習が大切です。

#### 7 物理領域に関する問題

凸レンズによる像のでき方に関する問題です。得点率は、34.1%でした。

問1は、凸レンズによる実像の向きを問う問題です。

問2は、凸レンズによる像のでき方を調べる実験の結果から、凸レンズの焦点距離を求める問題です。

問3は、凸レンズを通る光の道すじを、線で表す問題です。

凸レンズの働きについての実験を行い、実験の結果から、物体の位置と像の位置及び像の大きさの関係を導きだす学習が大切です。

## 8 物理領域に関する問題

電熱線の発熱に関する問題です。得点率は、35.8%でした。

問1は、回路図をもとに正しく組み立てた実験装置を問う問題です。

問2は、電力及び電流を流した時間と、電流によって発生する熱量との関係を、表やグラフから読みとる問題です。

問3(1)は、電熱線の発熱量と水が得た熱量の差を求める問題です。(2)は、接している物体の、温度が高いほうから低いほうへ熱が移動する現象を問う問題です。

問4は、白熱電球とLED電球のエネルギー変換効率の違いを問う問題です。

電流によって熱を発生させる実験を行い、実験の結果から、電流から熱が取り出せること及び電力の違いによって発生する熱量の違いを見いだす学習が大切です。また、エネルギーに関する観察、実験を通して、日常生活や社会での様々なエネルギー変換の利用について学習することが大切です。

### 〈まとめ〉

授業で行う観察、実験を中心に、各分野から、自然科学の概念と科学の方法を用いて課題を解決する力を問う問題を出題しました。また、観察、実験の方法や結果から図や表、グラフを用いて考察する問題を出題しました。

全体の得点率は前年より0.4ポイント下がり、52.8%でした。

理科の授業において、自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験に主体的に取り組み、結果を整理し、図や表、グラフなどにまとめて考察したり、日常生活や社会と関係付けて説明したりする学習に取り組むことが大切です。

## 令和2年度福岡県立高等学校入学者選抜学力検査結果の概要について

### 英 語

「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと」、「書くこと」の4技能を高め、思考力・判断力・表現力等を身に付ける学習を繰り返し行いましょう。

#### 問題内容・得点状況等

##### 【英語リスニングテスト】

英語の質問に英語で適切に答えたり、まとまりのある英文の要点を聞き取ったりする問題です。得点率は62.1%でした。

問題1は、短い質問を聞き、即時的に答える問題です。

問題2は、図や表を見ながら、情報を正確に聞き取り、質問に答える問題です。

問題3は、2人の対話の要点を正確に聞き取り、質問に答える問題です。

問題4は、動物園での説明の概要や要点を聞き取り答える問題と、関連する質問を聞いて、自分の考えを表現する問題です。

質問に即時的に答えたり、まとまりのある英文を聞きながらメモをとり、メモをもとに質問に答えたり、自分の考えを表現したりするなどの学習を行うことが大切です。

##### 【英語筆記テスト】

#### 1 「話すこと」に関する問題

コミュニケーションの場面や状況に応じて表現する力を問う問題です。得点率は67.4%でした。

英文の意味と構造を理解する学習を行うだけでなく、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などを想定して英語でやり取りする学習を行うことが大切です。

#### 2 「話すこと」「読むこと」「書くこと」に関する問題

会話の内容を把握し、その内容をもとに自分の考えを表現する力を問う問題です。ピクトグラムと色を話題としたもので、わかりやすく情報を伝える方法や言葉を使わずに情報を伝える方法があるという内容を読み取り、関連する質問に対して自分の考えを表現します。得点率は38.1%でした。

問1は、会話の流れを正確に把握し、語と語の区切りやつながりなどに注意して正しく英文を書く問題です。

問2の(1)は、会話の概要を把握し、スライドを参考に発表内容のテーマを選ぶ問題です。(2)は発表に対する先生からのコメント中の未習語の意味を推測し、同義の語を会話文から抜き出す問題です。

問3は、会話に関する質問について自分の考えを表現する問題です。

会話の内容を把握し、流れを考えながら適切な表現を用いてやり取りする学習を行うことが必要です。また、聞いたり読んだりしたことについて自分が持っている知識やこれま

での経験と結び付けて、自分の考えや気持ちなどを英語で表現する学習を行うことが大切です。

### 3 「読むこと」に関する問題

まとまりのある英文の概要や要点を読み取る力を問う問題です。主人公が職場体験での出来事をきっかけに、職業には自分の幸福を追求するという面と、社会の中で役割を果たして社会を支えるという面があり、ともに重要であることに気付くという内容を読み取ります。得点率は55.8%でした。

問1は、英語による質問の答えとして適切な情報を読み取り、英語で答える問題です。

問2は、下線部の代名詞が示す具体的な内容を読み取り、日本語で説明する問題です。

問3は、英文の流れを考えて下線部の語の意味を推測し、同義の語句を選ぶ問題です。

問4は、英文の概要や要点を正確に読み取り、内容に合う英文を選ぶ問題です。

日頃からまとまりのある英文に親しんで、書き手が伝えようとする内容を考えながら読むことが必要です。また、読み取った内容をまとめたり、それについての感想や自分の考えなどを英語で表現したりする学習を行うことが大切です。

### 4 「書くこと」に関する問題

コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、自分の考えが相手に伝わるように、まとまりのある英文を書く力を問う問題です。

ホームステイ先で、バスケットボールチームの部員募集ポスターについて、2つの案のどちらがよいか意見を求められ、「どちらかを選び、その理由を含めて」書くことに加え、「2つの案に触れながら」30語以上で書く問題です。得点率は44.4%でした。

身近な出来事について自分が考えたことや感じたことを伝えるために、文と文のつながりや順序に注意しながら、まとまりのある英文を書く学習を行うことが必要です。また、自分の考えが読み手に正しく伝わるように、理由を明確に述べたり、具体的な説明を加えたりして書く学習が大切です。

#### 〈まとめ〉

中学生にとって身近な場面を取り上げ、基礎的・基本的な知識を活用して、英語を理解したり表現したりする問題を出題しました。全体の得点率は前年度より2.6ポイント下がり、54.7%でした。

英語でのコミュニケーション能力の一層の向上が求められる中で、「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと」、「書くこと」の4技能をバランスよく高めることが大切です。そのためには、基礎的・基本的な知識を身に付ける学習だけでなく、具体的な場面の中で、知識を活用しながら、目的や状況に応じたコミュニケーションを行う学習に繰り返し取り組むことが大切です。